



令和5年8月10日

各位

会社名 株式会社ファルコホールディングス
代表者名 代表取締役社長執行役員 安田 忠史
(コード番号: 4671 東証プライム)
問合せ先 執行役員管理室長 大馬 久幸
(TEL. 06-7632-6150)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和5年5月12日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

令和6年3月期通期(累計) 連結業績予想(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 43,100	百万円 2,800	百万円 2,900	百万円 1,800	円 銭 160.40
今回修正予想 (B)	41,700	2,000	2,100	1,300	115.82
増減額 (B - A)	△1,400	△800	△800	△500	△44.58
増減率 (%)	△3.2	△28.6	△27.6	△27.8	△27.8
(ご参考) 前期実績 (令和5年3月期)	46,913	3,075	3,310	2,261	215.29

2. 業績予想の修正の理由

国内の新型コロナウイルス感染症(以下、「COVID-19」)の状況は、第8波以降、感染者数が大きく減少し、また令和5年5月に感染症法上の位置付けが第5類に移行したことにより、行動制限が緩和される等、アフターコロナを見据えた状況になりつつあります。当社グループにおきましては、これらの状況を見越し、COVID-19 関連検査の受託数が著しく減少することを想定しておりましたが、一方で受診控え等により減少していた COVID-19 関連以外の受託検体数及び処方箋応需枚数は増加に転じると想定しておりました。しかしながら直近の COVID-19 関連以外の受託検体数及び処方箋応需枚数の前年度からの伸びが想定以上に鈍いことから、令和6年3月期通期における臨床検査事業及び調剤薬局事業の売上高は、期初の想定を各3%程度下回る見込みであります。

これにより連結上の営業利益は前回公表を8億円、経常利益は8億円、親会社株主に帰属する当期純利益は5億円程度それぞれ下回る見込みであります。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上